

7/7 社会を明るくする運動 7/12 7/21

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

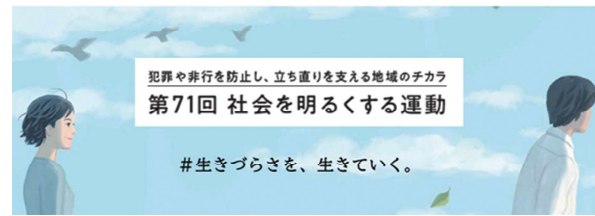
今年も各島の港で街頭キャンペーンを行い、伯方警察署、保護司会を中心にPR活動を行いました。

■ “社会を明るくする運動”とは？

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で71回を迎えました。

■ 地域のチカラが犯罪や非行を防ぐ

犯罪や非行をなくすためには、立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをすることも大切なことです。



8/6 (金) 上島町児童・生徒会議（上島町子どもサミット）

8月6日(金)に第9回上島町児童・生徒会議(上島町子どもサミット)を行いました。上島町の小・中・高校生の代表27名が集まり、いじめ撲滅に向けて、話し合いを行いました。今年度は、まず、各校のいじめ防止のための取組を発表し合う活動を行い、次に、人権学習ビデオ「imagination-イマジネーション 想う つながる 一歩ふみだす」を視聴し、いじめ問題について協議を行いました。そしていじめのないクラスや学校づくりのために、今、自分たちのできることを考えました。



★ 叙勲の受章 おめでとうございます

旭日単光章

左山 寛二さん (岩城)

左山さんは、昭和54年4月から平成3年4月まで3期12年の永きにわたり岩城村議会に席をおき、3期目の昭和62年5月からは副議長を2年間努められ、漁港整備、港湾施

6月1日(火)、地方自治功労に係る高齢者叙勲が発令され、長年にわたる功績・功労により叙勲の栄誉に浴されましたので、ご紹介します。この度のご栄誉を心からお慶び申し上げます。

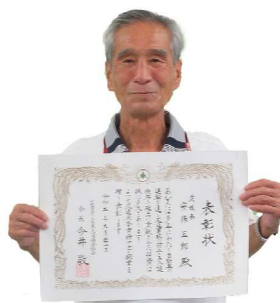
設、農道整備、観光開発、診療所、公営住宅、開発総合センター、中学校校舎、観光センター、農業集落排水施設などの整備開発事業に尽力され、卓越した識見並びに指導力をもって地方自治の発展に貢献されました。



★ 祝 交通荣誉章緑十字銅章を受章 おめでとうございます

一般財団法人全日本交通安全協会から、伯方地区交通安全協会弓削支部の安保三郎さんと、岩城支部の松浦米親さんが、交通荣誉章緑十字銅章を受章されました。これは、多年にわたって交通安全のために尽力され、交通事故の防止と交通秩序の確立に貢献された方に対して表彰されるものです。永年の功績による受章、おめでとうございます。

伯方地区交通安全協会弓削支部 安保 三郎さん
伯方地区交通安全協会岩城支部 松浦 米親さん



7/14 (水) ～地産地消～ 地元の旬の食材を子ども達の学校給食へ 生産農家と3年生との交流会

岩城小学校において地域食材を学校給食に提供している「うまい会」の生産農家と3年生の児童との給食試食交流会が開催されました。児童たちはレモンタイム(総合的な学習の時間)で農家の方から野菜がどのようにして育つのかを教わり、夏野菜を栽培・収穫した感想や、きゅうり・ピーマン・トウモロコシについての野菜クイズを発表しました。その後、児童と生産者が一緒に給食の試食を行いました。この日の献立は、豆腐の中華煮・チンジャオロース・フライドポテト・サラダうどん・麦ごはんなどで、生産者の方々が一生懸命作ってくださった食材をおいしくいただきました。



7/17 (土) 海岸清掃活動 「リフレッシュ瀬戸内」を実施しました

夏空のもと海水浴シーズン前にボランティアによる岩城島海岸全域の海岸清掃「リフレッシュ瀬戸内」を実施しました。小学生・中学生をはじめ、保護者、地元企業、役場職員など、計約160名の方々の参加をいただき、海岸に漂着したビン・カン・ペットボトル・発泡スチロール・流木等約1tのごみを回収することができました。

この「リフレッシュ瀬戸内」は、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の事業の一環として海岸の清掃活動を通じて、“美しい海を守っていく”ことを参加者はじめ多くの人々に訴えていくことを目的に取り組んでいる活動です。私たちの手で、素晴らしい上島の海の環境を未来に残しましょう。



7/21 (水) 上島町授業力向上研修会 ～上島町内の小中学校の先生参加～

上島町内の小中学校の先生方が参加して、「魅力ある授業とSDGs～教材開発と導入の工夫～」について授業力向上研修会がありました。講師に今治城自然科学館館長の村上圭司先生をお招きして、魅力ある授業づくりについて、実習や話し合いを行い、先生方も学習を深めることができました。



7/24 (土) 水面に灯り幻想 上弓削・精霊流し

上弓削港周辺において、毎年地蔵盆の日に行われている精霊流しが行われました。住職を先頭に、子どもたちが曳いてきた精霊船「極楽丸」を乗せた船が到着。法要の後、地蔵盆おどりを踊り、燈籠を海に流しました。夕日が海面を赤く染め、燈籠が流れる様子は、故人の魂を弔う幻想的な光景でした。

